

体育科学習指導案

単元名 ゲーム「ネット型ゲーム」
～プレルボール～

令和4年6月15日（水）第5校時 体育館
甘楽町立新屋小学校 3年松組 指導者 安達 学

<授業改善の視点>

ゲームのルールやチームの長所、短所を考える場面において、Google フォームやスマイルノートを活用して振り返り等を共有し、自分の考えを伝えることで、楽しくゲームを行うことができるであろう。

I 単元の構想

1 単元の目標（育成を目指す資質・能力）及び児童の実態

	単元の目標	児童の実態（34名）
知識及び 技能	・ゲームの行い方を知り、ボールを操作できる位置に体を動かししたり、自分のコートにボールを打ちつけて味方にパスをしたり、相手コートに打ち返したりすることができる。	・どこを狙ってボールを投げれば相手のコートに届くのか分からない児童がいる。 ・空中にあるボールを手で打ちつけることができない児童が多くいる。 ・弾んだボールがどのような軌道になるのかイメージ出来ず、ボールを操作できる位置に体が動かせない児童がいる。
思考力、 判断力、 表現力等	・みんなで楽しくゲームに取り組めるように、ゲームのルールを工夫することができる。 ・課題解決のために考えたことを友達に伝えることができる。	・声を掛け合える児童は多いが、課題解決のための具体的なアドバイスができる児童は少ない。
学びに 向かう力 人間性等	・ゲームのルールを守り、誰とでも仲よくゲームをし、ゲームの勝敗を受け入れることができる。	・誰とでも仲よく活動できる児童が多くいるが、勝敗にこだわりすぎて、友達への言葉かけが乱暴になってしまったり、ルールを破ってしまったりする児童が一部いる。

2 評価規準

【知識・技能】

- ・基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをしている。E（1）イ

【思考・判断・表現】

- ・ルールを工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えている。E（2）

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。E（3）

3 単元計画及び指導方針（9時間）（指導に生かす評価＝○、評定に用いる評価＝●）

時	過程	学習活動	評価			指導方針・ICT活用
			知	思	主	
1	つかむ	○学習の進め方を知る。 ○ドリルゲームを行う。 ・シュートパスゲーム ・プレルパスゲーム ・三角パスゲーム ○学習計画を確認する。	○			・プレルボールがどのような学習なのか視覚的に理解させるために、プレルボールの動画を視聴する。 You Tube ・見通しをもって活動できるように、学習計画を確認する
<単元の課題> 自分たちのプレル力をみがきながら、ルールを工夫してみんなで楽しくプレルボールをしよう。						
2	追	○ドリルゲームを行う。 ・シュートパスゲーム ・プレルパスゲーム ○タスクゲームを行う ・シュートゲーム	○			・個人の基本的な技能を習得したり習熟できたりするために、ドリルゲームを行う。 ・個人及び集団の技術的、戦術的能力を育成するために、タスクゲームを行う。 ・自分たちのチームの長所や短所を把握するために動画を撮影する。 iPad
3	究	○ドリルゲームを行う。 ・プレルパスゲーム ・三角パスゲーム ○タスクゲームを行う。 ・ターゲットシュートゲーム				・自分たちのチーム課題を解決するための練習内容について話し合う。 スマイルノート
4	す	○タスクゲームを行う。 ・ターゲットシュートゲーム ○メインゲームを行う。 ・2キャッチシュートプレルボール		○		・メインゲームを行い、実際のゲームの中での自分たちのチームの長所や短所を把握するために動画を撮影する。 iPad
5	る	○ドリルゲームを行う。 ・プレルパスゲーム ・三角パスゲーム ○タスクゲームを行う。 ・ターゲットプレルゲーム				・自分たちのチームの課題を解決するための練習内容について話し合う。 スマイルノート
6	・	○メインゲームを行う。 ・1キャッチプレルボール	●			・メインゲームを行い、実際のゲームの中での自分たちのチームの長所や短所を把握するために動画を撮影する。 iPad

・はじめとおわりにしっかりと挨拶をする。 ・審判と得点つけは、プレーをしていない児童が行う。 前半戦の反省を生かし、練習を行う。 ・攻撃の仕方、守備の仕方（ポジション）。 プレルボールの後半戦を行う。	・よいプレーを広めるために、よいプレーをしている児童を取り上げ、称賛する。 ・前半戦を振り返り、反省点を話し合う場面では、友達の考えを認められるようにする。 ・気持ちよくゲームを進めることができるように、勝敗を素直に受け入れられるよう指導する。
5 本時の学習内容を振り返る。（5分） ・チームの評価と自己評価をする。 ・本時の活動でよかったところや課題を話し合う。 ・Google フォームを活用して学習の振り返りをする。	・振り返りの時間を短縮しつつ、振り返りの内容を集計するために、Google フォームを活用する。 Google フォーム 【思・判・表】（Google フォーム、発言） ルールを工夫するとともに、ゲームや練習の中で見つけた課題等をチームの友達に伝えている。
<振り返り>（視点：みんなが楽しめるように、ルールをどのように工夫しましたか） S：「キャッチできる数を増やしたので、プレルが苦手な人も進んで取り組めた。」「ネットの高さを高くしたので、ラリーが続いて楽しかった。。」 等	

Ⅲ 板書計画

め

ルールを工夫して、楽しくゲームをしよう

ルール

<ふりかえり>

みんなが楽しめるように、ルールをどのように工夫しましたか。

○ ボールをつなぐ回数

○ ネットの高さ

○ ボールの打ち方

○ ポジション

○ アタックの仕方